

令和3年度

和光市立第三中学校

認知症サポーター（福祉）体験



第3学年

特色

- 本校学区内の和光市総合福祉会館ゆめあい和光の施設内にある和光市社会福祉協議会と連携を図りながら、福祉教育の推進を行っている。学年ごとに教育計画に位置づけ、生徒の成長段階に応じた福祉に関する知識・技能等を学習している。主な体験として、ガイドヘルプ体験・障害のある方からの体験講話（1年）、車いす利用者からの講話・車いす体験（2年）、認知症についての講話・認知症サポーター養成講座（3年）を計画している。

生徒の感想

- 「認知症」という言葉は知っていたが、内容がよくわからなかったが、この講座でよくわかることができた。
- 家族に「認知症」を患っているお年寄りがいる。声の正しいかけ方や、自分の振る舞いをどのようにすべきなのかがわかった。
- 離れて暮らすおじいちゃんに会いたくなった。そして、優しく話をしてあげたくなった。

成果

- 本体験活動を通じて、他者を理解し自分自身が「何をすべきか」を学ぶことができたことから、豊かな心の醸成の一つになった。